

ぴっかぴかの1年生だよ！西馬城小学校入学式 4/13

今年度は4名(下矢部1、上矢部1、市内2)の子どもが入学しました。新入生を心から歓迎する上級生の子どもたちの気持ちを感じられるあたたかい入学式でした。

今年度の西馬城小学校の児童数は全校で11名となります。



上級生に手を引かれてステージに登場した新入生



「1年生になったら」の歌に合わせて上級生がダンス

3年ぶいのにぎわい 生目神社の春季大祭 4/17

コロナの影響で一昨年昨年は役員で神事だけの実施になっていた生目神社の春の大祭が、今年は入念な感染対策を施したうえ出席案内を地元上矢部地区住民に絞って開催されました。好天に恵まれ、また久しぶりの生目様のお祭りとなつて境内がにぎわいました。



境内入口鳥居の下でまず体温チェック



参拝者の皆さんも「ソーシャルディスタンス」

西馬城の歴史 矢部氏と長興寺

矢部氏は大神比義(500年も生き終いには白狐となったと言われる人物)を祖とし、矢部荘に居を構えこの地を治めたことから、荘の名をとって矢部氏と名乗るようになります。

応永年間(1394~1427)矢部近江守高朝は上矢部の人牟礼山尾崎に龍ヶ鼻城という山城を築きます。このとき矢部氏は大内氏に属していました。1409年に長興寺(臨済宗大徳寺派)を建立。1447年には寺の裏山(丸山墓地)に父のために供養塔を建立します。上矢部の観音寺、薬師寺(生目神社下)は長興寺の末寺として建立されたものです。矢部氏は普段は下矢部の矢部城(丸山城)を居城として生活し、有事の際には村人を引き連れ上矢部の龍ヶ鼻城に立て籠もり戦いに備えました。

大内氏が滅びると矢部氏は大友氏に属します。その後豊臣秀吉の九州征伐により黒田孝高(如水)に服すと城は没せられ矢部氏は百姓身分に位置づけられました。黒田氏は矢部氏を農民身分としたまま宇佐宮の三十六武官という格式を与え、誇りを満足させつつ庄屋として農村支配の手足として利用しました。

長興寺は数年前から無住寺となっていますが、檀徒の方々が毎月2回の掃除を欠かさず、寺は美しく保たれています。



趣のある石段と山門が来訪者を迎えます



丸山墓地の五輪の塔、中央が高朝のものか？

5月の行事

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 憲法記念日	紙 4 みどりの日	5 こどもの日	6	7
8 母の日 清掃デー(矢部)	び・P 9	10	11	12	13	14
15	缶 16	17	18	19	20	21
22	不燃 23	24	25	26	27	28
29	30	31				

〈お知らせ〉

西馬城地域づくり協議会事務局の仕事(賃金が出ます)をしてくださる方を募集します。パソコンがある程度でき、地域づくりに関心のある方なら歓迎です。詳しくは事務局へ。